

平成8年2月23日

秩父の良さをもっと知って

## 区立生活産業プラザで『秩父札所写真展』

23日より豊島区立生活産業プラザ(東池袋1-20)で『秩父札所写真展』が開かれている。秩父リゾート地域整備推進協議会(秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、吉田町、小鹿野町、両神村、大滝村、荒川村、東秩父村、寄居町)が主催し、豊島区が後援している。

この写真展は、今春(4月～6月)に西国、坂東、秩父の霊場100か所の観音様が総開帳されることを記念して開催されたもので、会場には、秩父の自然・伝統文化等を撮り続けた故清水武甲氏が撮影した秩父札所34か所の写真が中心に展示されている。

豊島区と秩父市は昭和58年10月に姉妹都市提携を結んでおり、年間約5,000人の区民が区指定の民宿(7年度:9軒、8年度:10軒)を利用し、交流を行っている。

○開催期間: 2月23日(金)～29日(木)

○時 間: 午前10時～午後4時30分(29日は午後3時30分まで)

—— 入場無料 ——

### [秩父札所]

秩父34か所の観音霊場は、坂東33か所、西国33か所と共に、日本百番観音に数えられている。

秩父札所のおこりは、文暦元年(1234)甲午3月18日開創と伝えられ、長享2年(1488)の秩父札所番付(札所32番蔵)が実在する事から、既に室町時代末期には秩父札所があったと考えられ、江戸時代になると観音信仰は庶民の心の支えとして流布し、隆盛をみるようになった。

秩父巡礼は、1番四萬部寺から34番水潜寺まで静寂な山村と美しい自然の風光を背景に一巡約100km程ある。

詳細 文化国際主査 秩父リゾート地域整備推進協議会